

TOTO

手洗器付キャビネット

品番：YSC46FCN/YSC46FSN
品番：YSC46AFCN/YSC46AFSN

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。商品にはお客様用として、取扱説明書が付属されています。工事完了後は必ずお客様へお渡しください。取扱説明書に付属の保証書には、店名およびお取付日を必ず記入してください。

安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。

- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	○は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		●は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
--	-----------------------------------	--	--

警告

必ず実行 手洗器取付金具とキャビネットは確実にさん木に固定する
固定が不完全な場合、手洗器やキャビネットがたおれ、けがや重大事故の原因となります。

注意

必ず実行 排水管に排水トラップ継手を差し込んで接続する際は、排水管の内側に接着剤を必ず塗布する
接着剤を使用しないと水漏れします。

キャビネット凸部を手洗器の穴に差し込んだ状態で移動させる場合は、キャビネットを持って移動させる
キャビネット凸部が破損し固定が不安定となり、手洗器やキャビネットがたおれ、けがをするおそれがあります。

取り付けには付属の壁取付ねじ(なべ頭タッピンねじφ4×30)を使用する
取り付けが不安定になり、落下してけがをするおそれがあります。

注意

必ず実行 取り付け完了後、製品にガタつきが無いことを確認する
製品にガタつきがあると、製品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

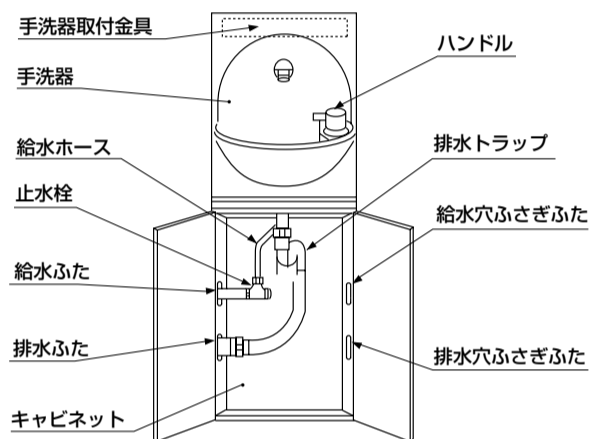
禁止 キャビネット内に洗剤類を収納する場合には、必ずキャップを閉める
洗剤類の液漏れや気化ガスがキャビネット内を侵し、故障・腐食の原因になります。

禁止 給水ホースをつぶしたり、折り曲げたりしない
水漏れするおそれがあります。

使用上のお願い

- 給水圧力は0.05~0.74MPa {0.5~7.5kg f/cm²} です。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水は、上水道に接続してください。
- 中水道および異物を多く含む水には使用できません。
- 施工が終わったら必ず各接続部から水漏れのないことを確認してください。

1 各部のなまえ



※図のハンドルはYSC46FCN・46FSN (ハンドル式水栓)の場合です。

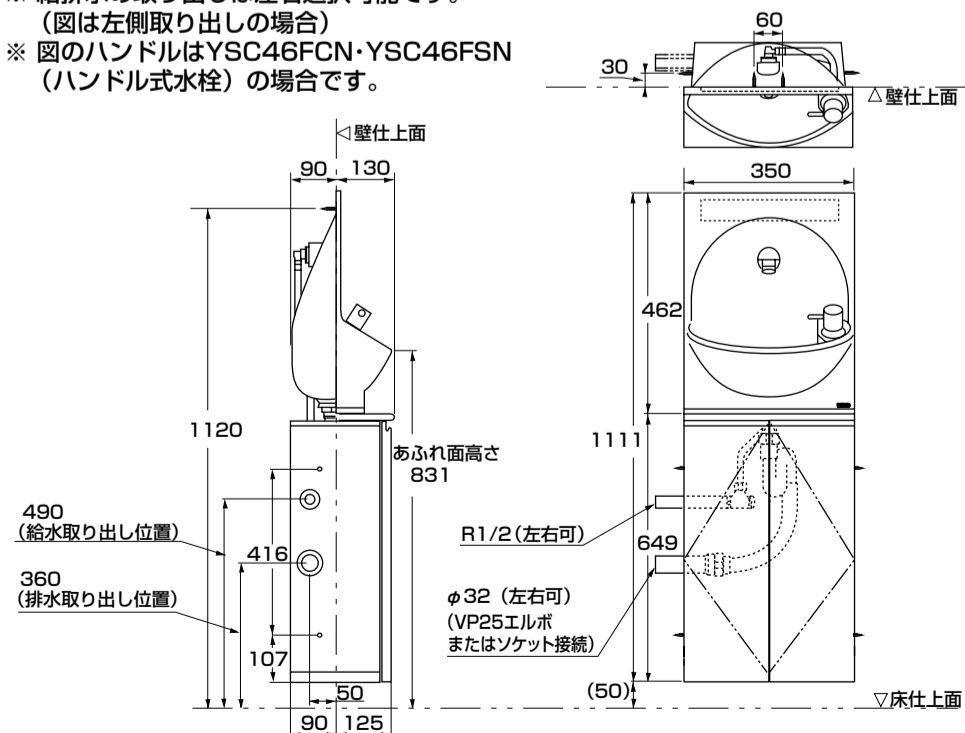
2 付属品の確認

壁固定ネジ	なべ頭タッピンねじ φ4×30 ・手洗器取付金具用 3本 ・キャビネット固定用 4本 ・間口調整板固定用 6本
手洗器取付金具	1個
排水トラップ	1個
給排水ふた	各1枚
給排水穴ふたさきふた	各1枚
止水栓	1個
給水ホース	1本
間口間口調整板	2枚

YSC46AFCN・YSC46AFSNのみの付属品
六角レンチ(対辺4mm) (ハンドル取外し用) 1本

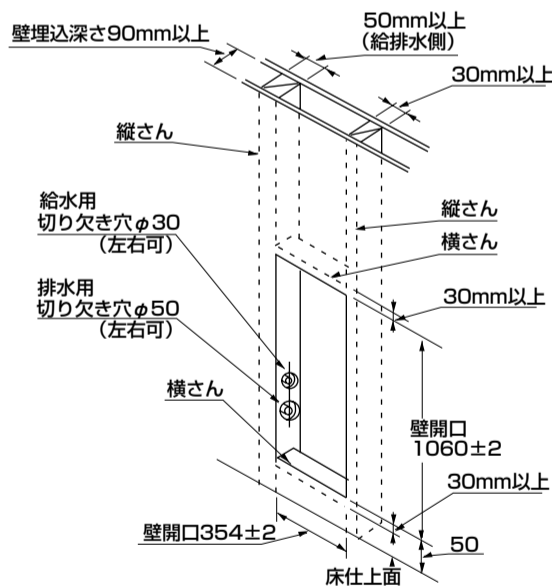
3 製品寸法

- ※給排水の取り出しは左右選択可能です。(図は左側取り出しの場合)
- ※図のハンドルはYSC46FCN・YSC46FSN (ハンドル式水栓)の場合です。

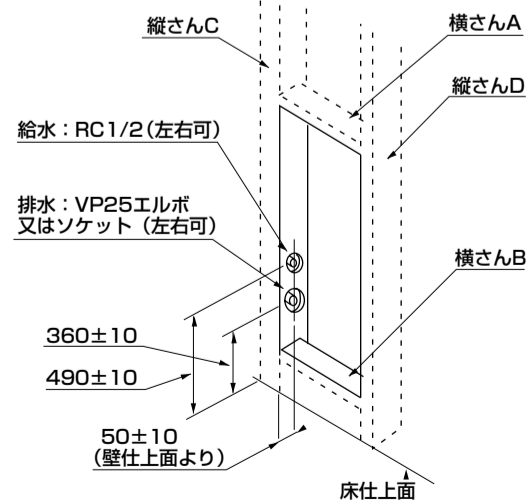


4 取付前の準備

- 製品取り付けのねじ固定用として、図のような縦さん・横さんが必要です。壁仕上げ前にあらかじめ設けておいてください。
- 製品取り付けの壁開口は図の寸法で設けてください。
※壁埋込み深さは90mm以上必要です。
※壁下地材および、壁仕上材はキャビネット取付後に仕上げてください。



- 給排水は下図の寸法で取り出してください。
※給排水の取り出し位置は右図に示す公差に納めてください。
※給排水の取り出しは左右選択可能です。(図は左側取り出しの場合)
※給排水の立ち上げは壁開口面と面一にしてください。



5 取付方法

1-1 キャビネットと手洗器の取り付け

警告

手洗器取付金具とキャビネットは確実にさん木に固定する固定が不完全な場合、手洗器やキャビネットがたおれ、けがや重大事故の原因となります。

必ず実行

① 手洗器取付金具を横さんAに付属のタッピンねじ（なべ頭φ4×30、3本）で固定してください。

② 間口調整板を縦さんCとDに付属のタッピンねじ（なべ頭φ4×30、各3本、計6本）で壁仕上面に合わせて固定してください。

③ 給水栓本体に給水ホースを接続してください。 ※パッキンを必ず入れてください。

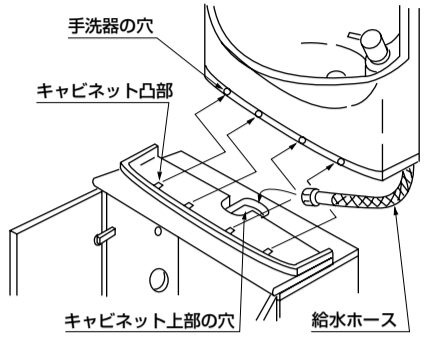
1-2 キャビネットと手洗器の取り付け（つづき）

- ④ キャビネットの凸部を手洗器の穴に差し込んでください。
 ※ 給水ホースと排水金具をキャビネット上部の穴に通してください。
 ※ 壁内に埋込まれる給水栓本体および給水ホースの防露対策を必要に応じて行ってください。

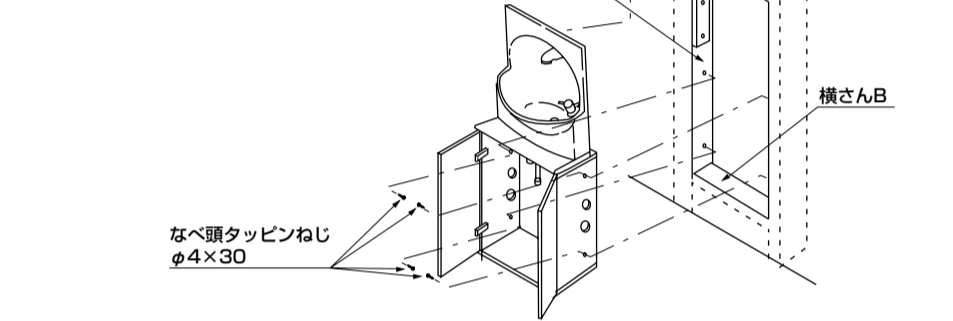
注意

差し込んだ状態で移動させる場合は、キャビネットを持って移動する。手洗器のみを持ち上げると、破損することがあります。

必ず実行



- ⑤ 手洗器を手洗器取付金具に引掛け、キャビネットを縦さんC・Dに付属のタッピンねじ（なべ頭φ4×30、4本）で固定してください。
 ※ 手洗器が手洗器取付金具に確実に掛かっていることを確認してください。
 ※ 締めすぎに注意してください。キャビネットが変形することがあります。（締めすぎた場合はすぐに緩めてください。）
 ※ キャビネット底面と横さんBの間に隙間が生じる場合にはスペーサーなどで隙間を無くしてください。



注意

手洗器を引掛ける際には、キャビネットを持ち上げて掛ける。手洗器のみを持ち上げると、破損することがあります。

必ず実行

2 止水栓の取り付け

注意

給水ホースをつぶしたり、折り曲げたりしない。水漏れするおそれがあります。

禁止

① 給水管と止水栓を図のように取り付けてください。
 ※ 給水管に付属の給水ふたを入れ、接続してください。
 ※ 接続部には、必ずシールテープを巻いてください。

② 給水ホースを止水栓に取り付けてください。 ※パッキンを必ず入れてください。

3-1 排水トラップの取り付け

① 排水トラップと排水トラップ継手を図のように取り付けてください。

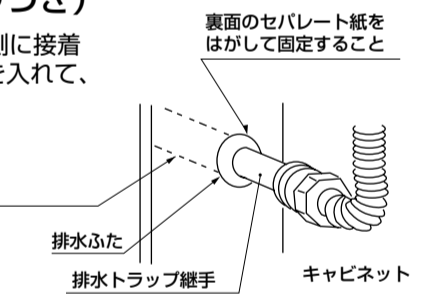
3-2 排水トラップの取り付け（つづき）

- ※ 排水管（VP25エルボまたはソケット）の内側に接着剤を塗布し、排水トラップ継手に排水ふたを入れて、排水トラップ継手を差し込んでください。

警告

排水管の内側に接着剤を塗布する

必ず実行



4 給排水ふさぎふたの取り付け

① キャビネット内の使用しない側の給水穴、排水穴を付属の給排水穴ふさぎふたでそれぞれふさいでください。

5 通水の確認

- 各接続部から水漏れの無いことを確認してください。
- 吐水量の調整
 [ハンドル式水栓の場合（YSC46FCN・46FSN）]
 ・ハンドルを全開にし、吐水量が5L/min程度になるように止水栓を回して吐水量を調整してください。
 ※ 約200mLの容器（牛乳ビン等）が2～3秒でいっぱいになるのを目安にしてください。
 [オートストップ水栓（自閉式）の場合（YSC46AFCN・AFSN）]
 ・取付当初、吐水時間は長め、吐水量は多めにありますが、数回の水出し操作で正常になります。
 ・吐水時間、吐水量のご確認は数回の水出し操作後行なってください。
 ・調整方法は付属の取扱説明書をご覧ください。

6 シリコンシール剤を塗布する

手洗器付きトイレキャビネットの周囲にシリコンシール剤（別途手配）を塗布してください。

注意

取り付け完了後、製品にガタつきが無いことを確認する。製品にガタつきがあると、製品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

必ず実行